

メーデー宣言

本日、私たちは第84回メーデー中央大会を開催した。

東日本大震災からすでに2年が経過したが、被災された方々は、進まぬ復興、長期にわたる避難生活、不安定な雇用になお大変な苦勞を強いられている。被災地の復興を加速するためには、何より被災地の方々の安定的な雇用が不可欠である。

私たちは、これからも被災地との絆を深め、復興と再生に向けて全力をつくす。

一方、わが国は、長引くデフレ経済、格差・貧困問題の拡大や不安定雇用の増大、将来不安を抱える社会保障制度など深刻な状況にある。今こそ、経済の中心に人をおくことを求め、雇用の安定と格差の是正、労働者保護の推進とディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の実現、社会的セーフティネットと所得再分配機能の強化など、働く者・生活者の立場からの政策の実現を強く求めていく。

同時に、「傷んだ雇用と労働条件」の復元に全力で取り組み、すべての労働者の賃金・労働条件の底上げをはかっていく必要がある。私たちは、「人への投資」を経営に求め、適正な成果配分を追求する。春季生活闘争を最後まで闘い抜き、消費と内需の拡大へとつなげ、ゆとりと豊かさを実感できる持続可能な社会を実現しよう！

労働組合は社会に不可欠な存在である。集団的労使関係をあらゆる職場で確立していくために、労働組合の社会的意義を積極的にアピールし、一人でも多くの仲間の結集を進めていく必要がある。人はひとりでは生きていけない。助け合い支え合う共助の輪を拡大し、連帯を強化していこう！

海外では、今なお自由と平和を脅かす状況が続いている。核兵器開発・核実験が強行され、地域紛争やテロもあとを絶たない。私たちは、いかなる国に対しても、これを許さず、核兵器廃絶と人権侵害救済、北朝鮮による日本人拉致事件の全面解決のため、力を尽くし行動していく。

メーデーは労働者の国際連帯の日である。世界では、労働者の基本的権利など人権の侵害や、労働組合活動家への厳しい弾圧と迫害は依然として後を絶たない。仕事に就けない若年者や非正規雇用の増加、社会的保護の未整備などにより貧困や格差は広がっている。

私たちは、国際労働組合総連合（ITUC）や諸外国の労働組合と連帯し、自由と世界の恒久平和、そして、すべての人のディーセント・ワーク実現のために取り組みを推進し、格差を是正し貧困の撲滅を目指す。

メーデーは働く人たちが主役である。NGO・NPOや志を同じくする仲間との連携と、すべての働く者の連帯で、STOP THE 格差社会！暮らしの底上げを果たし「働くことを軸とする安心社会」を実現することを、今ここに宣言する！

2013年4月27日
第84回メーデー中央大会